

巡る・感じる・考える

体感する都市おおさかの歩み

大阪歴史博物館



Osaka Museum of History
2001年11月3日オープン

大阪市中央区大手前4丁目1-32 TEL.06-6946-5728

地下鉄谷町線・中央線「谷町4丁目駅」⑨番出口すぐ

10F

古代フロア

エントランスホールからエレベーターで一気に10階へ。そこはもう奈良時代の難波宮の大極殿です。原寸大に復元した空間では、直径70センチもある朱塗りの円柱が立ち並び、官人たちが整列。大スクリーンでは宮廷の儀式のようすをわかりやすくご紹介します。想像したこともない古代の世界へタイムスリップしてみてください。

体感!大極殿。



女官
「私は、帝のお世話をする係のひとり。大画面の中から皆さんに、宮廷のようすをナビゲーション。」



地下遺構

今からおよそ1350年ほど前の飛鳥時代、この博物館が建つ敷地には難波長柄豊碓宮という宮殿の役所が置かれていました。発掘調査ではたくさんの倉庫跡やそれらを区画する堀跡、宮廷に水を供給した水利施設などが見つっています。そのほとんどは再び埋め戻して保存するとともに、一部は掘り出したままの状態でご覧いただけます。

実物の
古代遺跡を
見学できます。



9F

エスカレーターで9階に降りると、信長と戦った本願寺の時代の大阪に到着。江戸時代ゾーンでは文楽人形「浪花屋」を水先案内人に、水都の景色を楽しんでください。1/20のミニチュア模型では町の賑わいを再現。活気あふれるなにわの町人たちの暮らしが、いきいきとくりひろげられます。

ぐるっと水都めぐり。



浪花屋
「私は、文楽人形・浪花屋賣之助。水の都と謳われた江戸時代の大阪を、楽しく案内します。」



歴史を掘る・ 特集展示 フロア

なにわ考古研究所へようこそ。原寸大に再現した遺跡を使って、発掘調査や遺構・遺物の見かたを学ぶことができます。いろんな道具や資料を使って本番さながらのワークショップも企画します。実物を見て触れる考古学の体験空間で、須古所長といっしょに研究を始めましょう。

考古学にチャレンジ。



所長
「私は、研究所の所長須古。考古学の面白さを紹介しよう!」



7F

近代現代フロア

10階からつづく時間の旅は、7階で終着へ。いまでもその香りが残っている懐かしい大阪との出会いがまっています。大正末期～昭和初期にひときわにぎわった心齋橋筋、道頓堀などの街角を、大きさ、雰囲気そのままにきりとりリアルに再現。当時の記録映像とともに繁栄するモダン都市・大阪の街を歩くことができます。

街のパノラマ。



モダンガール
「私は、昭和初期の大阪で流行の最先端にいたモダンガール。展示場で会いましょう。」

